

デジ庁へ立ち入り検査

マイナンバー巡り個人情報保護委

河野氏は外遊

登録・管理されています。ることはできない」と判断
登録手続きを支援する自治

河野太郎デジタル相は外

遊のため不在で、個人情報

マイナンバーをめぐるトラブルが相次ぐなか、政府の個人情報保護委員会は19日、国や自治体からの給付金などを振り込む「公金受

取口座」の誤登録を問題視して、所管するデジタル庁にマイナンバー法に基づく立ち入り検査を実施しました。同口座に関しては、誤登録から別人の口座にお金を振り込む事案がすでに発生しています。

公金受取口座は、デジタル庁が管理するシステムで

登録手続きを支援する自治体窓口で、操作ミスによって別人の情報をひも付けたとみられるケースが6日までに940件明らかになっています。

さうに、同庁は本人ではなく家族名義と推定される口座が登録される事案も14万件把握しており、誤登録に至った詳細が明らかになつていません。

同委員会は、6月30日にデジタル庁から受け取った報告書では、「十分に個人情報保護の取り扱い状況を把握す

きるのか疑問です。河野氏は「個人情報保護委員会の求めに応じて適切に対応する」との短いコメントだけ出して、説明責任を果たそうとしていません。マイナンバーをめぐっては、健

康保険証や年金記録、障害者手帳などのひも付けの誤り、コンビニ交付サービスでの別人の証明書の交付などトラブルが続出し、国民の不安・不信が広がっています。